

第 6 回 国立社会保障・人口問題研究所-韓国保健社会研究院 (KIHASA)

年次合同フォーラム：日韓における医療・介護政策の動向と統計指標の向上にむけた取組

2025 年 12 月 19 日、本研究所と韓国保健社会研究院の共同主催により、第 6 回国立社会保障・人口問題研究所-韓国保健社会研究院 (KIHASA) 年次合同フォーラムが、「日韓における医療・介護政策の動向と統計指標の向上に向けた取組」をテーマに開催された。本フォーラムは、両研究所の連携の一環として企画されたものであり、昨年は大韓民国セジョン市の韓国保健社会研究院において開催された。本年は開催地を東京に移し、本研究所において開催された。

フォーラムは、開会に先立つプレオープニング・セッション、林所長およびシン・ヨンソク院長による開会挨拶、ならびに 2 つの本セッションから構成され、日本語・韓国語の同時通訳のもとで報告および討論が行われた。プレオープニング・セッションでは、System of Health Accounts (SHA) 統計の作成・活用に携わる実務者を中心に、日本における SHA の政府統計化に向けた研究の進捗や、主要項目の計測手法および課題について報告がなされた。続く第 2・第 3 の本セッションでは、OECD Health at a Glance 2025 の分析結果を踏まえ、日本および韓国における医療・介護政策、財政、提供体制の動向について比較検討が行われた。さらに、保健・医療・介護分野における統計指標の整備と政策への活用をめぐり、日韓両国の取組や課題、ならびに OECD 指標の現状と今後の課題について議論が深められた。本フォーラムを通じて、日韓の研究者間で知見が共有され、今後の協力に向けた意義が改めて確認された。

<第 6 回 IPSS-KIHASA 年次合同フォーラム>

日時：2025 年 12 月 19 日（金）9:30～17:00

場所：社人研第 4・5 会議室／オンライン

言語：日本語、韓国語（同時通訳付）

本フォーラムの内容は以下のとおり。

プレオープニング・第 1 セッション：SHA 統計手法に関する実務者セッション

- ・竹沢純子「日本における SHA 政府統計化へ向けた研究：概要と進捗」
- ・泉田信行・今川冬馬「医療材」
- ・横山真紀・新杉知沙「出産・母子保健・学校保健」
- ・成瀬道紀「薬剤費」
- ・西沢和彦「行政費用・管理費」
- ・井伊雅子「資本形成・私的支出」

討論者：シン・ジョンウ、キム・ヒニョン

開会の辞：林玲子，シン・ヨンソク

第2セッション：医療・介護政策、財政、提供体制

- ・藤澤理恵「OECD Health at a Glance 2025-日韓の主な結果と政策への示唆」
- ・キム・ヒニョン「韓国の政策動向（医療保険、介護保険、地域包括ケア等）」
- ・田中謙一・藤井多希子「日本の政策動向（介護保険、地域包括ケア等）」

討論者：チョ・ジンヒ，キム・デジュン，小島克久，成瀬道紀

第3セッション：保健・医療・介護分野における統計指標の整備と政策への活用

- ・シン・ジョンウ「韓国における指標整備の取組と政策への活用」
- ・井伊雅子「日本における医療分野の統計整備をめぐる課題」
- ・藤澤理恵「日本の医療分野の OECD 指標の現状と課題」

討論者：河村絢也

閉会の辞：林玲子，シン・ヨンソク